



ぽんやが親子21

予期せぬ妊娠に対する支援に関する研修

予期せぬ妊娠は、母体や胎児の健康や安全が確保されにくいだけでなく、その後の子育てにも困難を生じることもあり、現在、女性健康支援センター等でその相談・支援が実施されています。しかし対象者が抱えている問題は複雑多岐に及んでいるのが実状で、多くの関係機関との連携による支援が必要になっています。

本研修は予期せぬ妊娠に対する相談・支援の基本的な知識や、関係機関が連携して行う支援の必要性、先進的な自治体の取り組み事例等を学ぶことを目的としています。研修で学んだことを女性健康支援センター業務の委託先等へ伝達し、相談・支援の充実や関係機関との連携促進へご活用ください。

《開催日・会場》 **受講料:無料** **定員:100名**(定員を超える申し込みがあった場合は調整させていただきます)

9月4日(水)【東京】平和と労働センター・全労連会館 2階 ホール(文京区湯島)

《受講対象者》 女性健康支援センターや妊娠SOSを実施している自治体及びその業務について自治体の委託を受けている団体等の担当者

※対象者以外はお断りさせていただきます。あらかじめ御了承ください。

《到達目標》

- ・予期せぬ妊娠に対する基本的知識や関係機関の連携の必要性について理解する。
- ・研修会で学んだことを女性健康支援センター業務の委託先等に伝達し、相談・支援の充実や関係機関との連携促進に活かす。

《プログラム》(受付9:40~9:55)

9:55~10:00 開会・事務連絡

10:00~10:30 **行政説明** 「女性健康支援センターや妊娠SOSの支援」

10:30~11:30 **講義①** 「医療機関での予期せぬ妊娠の現状とその対応」

- ・特定妊婦への支援
- ・相談窓口との連携 等

11:30~12:30 昼休み

12:30~14:00 **講義②** 「相談現場から見てくる相談者の背景」

- ・予期せぬ妊娠の背景、その要因
- ・相談者の背景を知ることの重要性と見落とさないためのポイント
- ・社会的支援体制の必要性 等

14:00~14:10 休憩

14:10~15:40 **事例紹介** 「予期せぬ妊娠に対する相談の実際~地域での継続支援~」

発表自治体:東村山市(東京都)、
大阪府、埼玉県

15:40~17:00 **グループディスカッション・全体共有**

「相談支援から寄り添った支援へ~自己決定を尊重する~」

- ◆仮想事例を用いた対応シミュレーション
- ・「つなぐ」ための関連機関との連携のポイント 等

《講師》(五十音順・敬称略)

かこがわ

水主川 純 東京女子医科大学産婦人科 准教授《講義①》

佐藤 拓代 大阪府立病院機構大阪母子医療センター母子保健情報センター 顧問《講義②・ディスカッション》

● 本研修に関するお問合せ ●

運営事務局:一般社団法人 日本家族計画協会 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館

<http://www.jfpa.or.jp/> 電話 03-3269-4785 (平日9時~17時・祝日除く) FAX 03-3267-2658

■ 「母子保健指導者養成研修」特設WEBサイト ⇒ <http://www.jfpa.info/boshi/> ■

お申込みは、特設WEBサイトよりお願いいたします。 こちらからもアクセス可能です⇒

